

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
1  									

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
9		4	マスタメンテナンス	1	金融機関マスタ更新			1	金融機関の合併や、支店の統廃合による口座振替金融機関の修正ができること。
				2	市内住所マスタ更新			1	現在富山市において、市内町名を公称町名（土地の字名）と通称町名（公称町名以外の俗称町名）を組み合わせで管理している。 町名に紐づく公称町名及び通称町名のマスタが存在することに留意すること。 また上記市内町名マスタの登録・修正・削除ができること。
				3	市外住所マスタ更新			1	全国の住所マスタまたはそれに代わる住所機能を持ち、市外の住所についても管理が可能であること。
				4	担当区域マスタ更新			1	職員が行う検針業務や滞納整理業務において、事務分担を容易に行えるように装置場所住所や町名マスタ等から区域分けを行い、区域別に作業分担が可能であること。
10				5	料金改定や税率変更			1	料金単価や税率、またその有効期間をデータベースに保持し、料金改定等が容易であること。
11								2	消費税総額表示に対応できること。
12								3	料金および消費税の改定等に関しては、終了・開始年月日の指定ができること。
13								4	複数の料金体系（過去の消費税率等含む）を管理できること。また料金改訂を実施した時にも、旧料金体系での試算ができること。
14									
15									
16									

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
17				6	職員登録・修正			1	職員番号、職員氏名などを登録・修正でき、業務の処理範囲を設定できること。
				7	検針情報修正	1	検針員登録・修正	1	検針員名の登録・修正ができること。
18						2	検針地区登録・修正	1	検針に関わる基準区域の登録および修正ができること。
19								2	担当する検針員と作業区、検針月（奇数もしくは偶数）を設定、変更できること。 なお、作業区は1ヶ月につき1～10日、11～20日に分割し、かつ奇数・偶数で分かれるため、全装置について2ヶ月4作業区で1周するサイクルとする。
20									
21						3	台帳分冊	1	検針員ごとの検針件数調整に使用するため、1つの検針区内に登録された検針対象者を別の検針区に分ける（分冊）、または2つの検針区内に登録された検針対象者を同一の検針区に合わせる（合冊）機能を有すること。分冊の場合は新規の検針区番号を付与すること。
22						4	足順整理	1	検針区内の検針順路の設定、変更を検針区ごとに行う機能を有すること。足順と足順の間への追加登録が可能であること。
23						5	お知らせメッセージ更新	1	検針票に記載される使用者あてのお知らせメッセージを変更できること。
24		5	その他管理	1	水栓登録・修正	1	お客様番号	1	給水装置工事申請に基づき、お客様番号の新規登録、廃止登録ができること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
25						2	上下水区分	1	水栓ごとに「上水のみ」、「上下水併用」、「上水+井戸」、「下水のみ（井戸水）」、「上下水（上水検針+下水検針）」等の上下水道の賦課区分を分別して登録・修正が行えること。 「上水のみ」を登録する場合は下水未徴収事由（「解体中」、「更地」、「汲み取り」等）を設定できること。
26								2	水栓ごとに上水用途（家事用、営業用、工場用、公衆浴場用、船舶用、臨時用、共同家事用、公共用、官公庁用）及び下水用途（一般、公衆浴場）を管理できること。 各マスタごとに、件数、水量、金額の集計が可能であること。
27								3	水栓ごとに下水事業区域（公共区域、公共未整備区域、農集区域、地域し尿区域等）及び下水事業区分（公共、特環、流域公共、流域特環、地域し尿、農業集落排水、大沢野農排船峠、大沢野農排下夕、大山農村モデル、大山農排1、大山農排2、大山農排3、山田林業集落）を管理できること。
28				2	事業会計区分 （会計システム入力用）			1	企業会計システム用マスタ（水道事業会計、下水道事業会計、工業用水道事業会計）を管理できること。 料金収入について、企業会計システム上で管理するために水道事業会計、下水道事業会計、工業用水道事業会計の3会計別に収入情報を管理できること。
29								2	会計区分を細分化（水道事業会計（上水、し尿汲み取り手数料）、下水道事業会計（公共下水、農業集落排水、林業集落排水、地域し尿）、工業用水道事業会計）し、現年度収入・過年度収入に分けて収入情報を管理できること。
30				3	旧市町村区分			1	富山市は平成17年に旧富山市、大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、山田村、細入村の市町村合併を行っている。 内部統計資料等作成のため上記の旧市町村区分ごとに統計・集計を行うことも可能であること。
31				4	給水管情報管理			1	お客様番号に紐づく下記の項目が確認できること。 給水管種（銅管、鋳鉄管、耐震型鋳鉄管、鋼管、鉛管、ポリエチレン管、水道配水用ポリエチレン管、ステンレス管、ビニル管、その他、から複数）、中高層階直結給水方式（3階直圧、4階直圧、5階直圧、増圧）、受水槽有無、受水槽容量  ※給水管情報については給水工事管理システム上で照会できることでも可とする。
32				5	水系管理			1	配水系統マスタを保持し、水栓ごとに水系を紐づけることができること。 水系ごとに調定件数や水量を集計することができること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
33				6	口座振替割引制度			1	富山市において過去に「口座振替割引制度」を実施していたため、調定金額から口座振替割引額を差し引いた金額で収納を行っていた。 現在は上記制度を運用していないが、過去の収納データ及び過去収納に対する帳票については、上記運用を考慮した表記ができること。
34				7	上下水道局事業管理者名の管理			1	上下水道局事業管理者名及び職務代理者の2件についてデータベースに保持し、納付書等の帳票への出力に使用できること。
35				8	公印管理			1	発行者の公印（複数種類）及び帳票ごとの公印の種類を管理できること。
36				9	料金シミュレーション			1	過去の使用水量（実績水量）をもとに、基本料金・従量料金を指定した改定額で料金試算が可能であること。
37	2 受付業務	1	検索機能					1	下記のそれぞれの項目で装置の検索が行えること。 お客様番号、装置場所住所、装置場所方書、使用者氏名、使用者氏名カナ、電話番号、メータ番号
38								2	検索項目を組み合わせ、複合検索による絞込み検索ができること。
39								3	氏名は、登録内容と下記のような相違があっても検索が可能なこと。 ・濁点・半濁点あり ⇔ 濁点・半濁点なし ・ヲ ⇔ オ ・空白あり ⇔ 空白なし ・長音記号 ⇔ ハイフン ・小文字 ⇔ 大文字 （例：ヤ→ヤマ）
40								4	最新使用者のみ検索、旧使用者を含めた検索 等の条件を設定して検索ができること。また、この検索条件は絞込み条件として他の検索条件と複合検索できること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
41		2	照会	1	使用者情報照会			1	装置における下記の項目が確認できること。 お客様番号、装置場所住所、装置場所方書、使用者氏名、電話番号、登録口座番号、検針区域、送付先住所、送付先氏名、郵便番号、特記（装置や使用者に関する情報）、請求サイクル、水栓状態（開栓中、休止中等）
42				2	料金照会			1	使用者に紐づく調定金額の下記の項目が確認できること。 調定年月、金額（水道料金、水道消費税、下水道料金、下水道消費税、し尿汲取料金、し尿汲取消費税、合計、※毎月請求の場合、調定を1期・2期に分けて各項目を確認できること）、水道使用量、下水道認定水量、前回検針日、今回検針日、日数、し尿汲取量、し尿汲取日
43				3	装置照会			1	装置に紐づく下記の項目が確認できること。 最新指針、用途、契約情報、口径、メーター種別、メーター番号、メーター位置、検針満了年月、引上、取付、取替日
44				4	検針履歴照会			1	使用者に紐づく検針情報の履歴のうち下記の項目が確認できること。 検針日、水道指針、水道使用量、下水道認定量（加算・減算子メーターがある場合、加算・減算水量）、検針状況、検針員、調定額（水道料金、水道消費税、下水道料金、下水道消費税、し尿汲取料金、し尿汲取消費税）、し尿汲み取り日
45				5	未納照会			1	使用者に紐づく未納情報のうち、下記の項目が確認できること。 滞納金額合計、納期限内未納額の合計、未納額総合計、未納調定の内訳（調定年月、未納金額、当初納期）、督促状の発行履歴、催告状の発行履歴
46				6	収納履歴照会			1	調定に紐づく収入のうち、下記の項目が確認できること。 領収日、収入日、収納方法、領収場所、収入金額、収入の履歴
47				7	過誤納金照会			1	使用者に紐づく過誤納金のうち、下記の項目が確認できること。 調定年月、過誤納金額、過誤納金額の内訳（水道料金、水道消費税、下水道料金、下水道消費税、合計）、還付・充当状況、還付先口座情報、充当明細
48				8	開閉栓履歴照会			1	使用者に紐づく開閉栓履歴のうち、下記の項目が確認できること。 開閉日、使用者、開閉区分、メーター撤去日、届出人情報、精算料金送付先住所、受付備考

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
49				9	受付履歴照会			1	使用者からの届出・問い合わせの履歴のうち、下記の項目が確認できること 受付日、受付者、内容、進捗
50				10	問い合わせ対応			1	同一水栓の使用者の世代管理ができ、調定、収納情報は該当する使用者の情報のみが表示されること。
51								2	完納、未納にかかわらず、すべての調定情報を時効までの期間、画面表示できること。
52								3	調定確定日前でも検針後の予定調定情報が同一システム内で確認できること。
53								4	調定情報、調定更正履歴、請求履歴、入金履歴の情報 等は過去10年以上を保存でき、随時各使用者毎に調定画面から各履歴画面に推移して参照ができること。
54		5	個人情報開示禁止情報（DV等）について、使用者情報とリンク登録が可能であり、該当使用者の検索時には誰が検索してもわかりやすいように視覚的判断が可能な画面表示や警告される機能を有すること。また、表示に関しては対外的な配慮が施されていること。						
55		3	受付	1	開始受付			1	装置の開栓の受付ができること。
56								2	前使用場所の口座情報を継続登録できること

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
57				2	中止受付			1	装置の中止（メーターを撤去せずに止水栓を閉め、最終指針の確認をもって給水中止とすること）の受付ができること。
58				3	閉栓受付			1	装置の閉栓（メーターの撤去）の受付ができること。
59				4	名義変更（精算なし）受付			1	料金精算を伴わない名義変更（世代管理）ができること。
60								2	前世代の口座を引継ぎできること。
61				5	開始休止受付共通			1	住所入力や日付入力には全国住所辞書、カレンダー表示などの職員入力支援機能を備えること。
62								2	開栓・閉栓の入力は検針期間中等でも入力し更新ができること。
63				6	問い合わせ受付			1	使用者からの届出・問い合わせを、受付履歴として登録できること。
64		4	使用者情報更新	1	使用者情報登録・修正・削除			1	使用者の送付先、口座、使用者名、電話番号などの使用者情報の登録・修正・削除ができること。



No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
65				2	用途変更			1	用途の変更ができること。
				3	装置場所住所変更			1	装置場所の住所・方書の修正ができること。
66									
67	3 開閉栓業務	1	使用開始					1	開栓作業は閉域網のネットワークを介する端末で作業を行えること。
								2	開栓に必要な情報を端末にて管理し、開栓時指針及び開栓結果の入力を行えること。
								3	閉域網のネットワークを介し、開栓結果を顧客管理用端末側から即時参照できるものとする。
								4	下記の項目が開栓作業画面に表示されること。 お客様番号、作業日、開始日、住所、新使用者名、旧使用者名、方書、電話番号、現在の水栓状態（中止中、閉栓中等）、作業種別、口径、メータ番号、メータ位置、前回指針、届出人名、届出人連絡先、子メータ検針有無、開栓案内投函有無、特記（装置や使用者に関する情報入力項目）、連絡事項（作業に関する客からの要望事項、作業員からの結果報告等）
68									
69									
70									
71		2	使用休止					1	使用休止（給水中止・閉栓）作業は閉域網のネットワークを介する端末で作業を行えること。
								2	使用休止（給水中止・閉栓）に必要な情報を端末にて管理し、中止・閉栓時指針及び休止結果の入力を行えること。
72									

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
73								3	閉域網のネットワークを介し、中止・閉栓結果を顧客管理用端末側から即時参照できるものとする。
74								4	使用中止受付をした装置に関しては、メータ引上を伴わず、指針の確認のみを行う運用に対応できること。
75								5	メータ引上を伴う閉栓作業に対応できること。
76								6	下記の項目が休止作業端末画面に表示されること。 お客様番号、作業日、休止日、住所、使用者名、方書、電話番号、口径、メータ番号、メータ位置、作業種別、前回指針、届出人名、届出人連絡先、子メータ検針有無、特記（装置や使用者に関する情報入力項目）、連絡事項（作業に関する客からの要望事項、作業員からの結果報告等）
77		3	開閉栓管理					1	開閉栓作業ごとに事前に作業担当者の振り分けができること。
78								2	水道に関する開閉栓業務の委託料の支払いのため、日別、月別、作業種別や作業担当者別及び区域（A区、B区）の件数集計ができること。  ※区域についてはA区（平野部）、B区（山間部）で委託単価が異なっている。 区域の区別については、公称町名及び通称町名により行っており、現行システムにおいては、公称町名及び通称町名をコードで管理して区域判別している。
79	4	検針業務	1	検針業務	1	検針データ抽出		1	検針期間前に今回対象検針データを抽出できること。検針用端末に検針データを転送し反映できること。 転送の手法は閉域網のネットワーク通信によるものとする。（ハンディーターミナルのように物理メモリのやりとりを不要とすること）
80				2	検針業務	1	検針入力	1	現地のメータ指針を確認し、その場で検針結果を検針用端末に入力し、前回指針との指針差により使用量の算出、更新を行えること。また、メーター回転及びメーター交換があった場合も自動計算ができること。 閉域網のネットワークを介し、検針入力結果を顧客管理用端末側から即時参照できるものとする。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
81						2	検針票発行	1	検針後には検針員が携帯する小型プリンターより検針票を発行できること。記載する内容は検針日・使用期間・今回指針・前回指針・使用量・概算額とする。また、口座振替のお客様については、前回振替結果（毎月振替の場合は前々回振替結果）も記載する。
82						3	推定入力	1	積雪等の理由により現地のメーター指針を確認できない場合、推定水量として検針用端末に入力できること。推定水量については直近 1 年間の検針履歴のうち最小の水量・直近 3 調定の平均水量などの条件をもって自動で計算も行えること。また、発行する検針票については今回検針が推定水量であることが視覚的に判断できる表示とすること。
83						4	異常報告	1	検針時に異常水量や漏水等の各種異常があった場合、異常報告として登録し、お客様・職員へそれぞれ通知するため、お客様への通知方法は検針票を介して通知するものとし、職員に対しては「4-1-2-7 異常報告確認」等で内容を参照することができるものとする。
84						5	検針票後出力	1	通常、検針した指針を現地で検針端末に入力するたびに自動で携帯小型プリンターより検針票が即時発行されるが、希望されるお客様に対しては、小型プリンターから検針票を出力できないように制限し、後日ハガキを別住所に送付する運用としている。上記運用のように、後出力を希望したお客様については検針票を一括で出力し、郵送できること。
85						6	随時検針	1	検針時に各種異常があった場合や検針期間外に検針を行うため、「再検針調査票」を出力できること。出力形式は帳票によるものとする。（レイアウトの指定なし）
86						7	異常報告確認	1	「4-1-2-4 異常報告」により、検針時に登録された異常報告内容を担当区域別に抽出できること。職員で内容を確認し対応の要否を判断する。なお、出力条件や項目は導入時に指定するものとする。
87						8	検針票再発行	1	お客さまから依頼があった際に検針票の再発行を行えること。掲載事項は「4-1-2-2 検針票発行」における票の内容のとおりとし、出力形式は帳票とする。
88						9	検針応援対応	1	検針期間中（検針データ作成後）、検針員が事情により検針できなくなった場合に一時的に他の検針員に検針区を割り振って検針できること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
89				3	検針データ返却	1	検針データ返却更新	1	検針終了後、検針用端末に入力されたデータを検針結果の履歴として更新できること。 転送の手法は閉域網のネットワーク通信によるものとする。（ハンディーターミナルのような物理メモリのやりとりを不要とすること）
90				2		検針エラー修正	1	検針終了後データについて、検針データ抽出時の状況と異なるものや休止中使用量発生などの異常について一覧を確認し、随時手処理で調定有無を判断し入力できること。その際、エラーとして出力する条件は導入時に指定できるものとする。	
91				3		未検針データ確認	1	検針期間終了後の検針データについて、未検針である水栓の確認ができること。	
92				4	検針管理	1	検針異動	1	選択した使用者について、当月検針したデータの指針、水量、金額等の修正ができること。また新規に検針履歴を作成できること。
93				2		検針委託料の算出	1	検針委託料算出のため、毎月20日で締めた検針終了後に検針員毎の検針件数の内訳を集計しCSV出力できること。	
94				3		検針項目変更	1	メータごとに検針区、足順などの検針情報やメータ情報を修正できること。	
95		2	メータ管理	1	メータ情報登録・修正			1	メータ及び取替えに係る以下の情報を登録・修正できること。 口径、メータ番号、検満年月、メーカ、メータ種別、型式、形状、入庫日
96			2	メータ年次計画等				1	顧客管理用端末に登録されている全メータを対象に集計結果を「水道メータ検満台帳」としてCSV出力し、検満メータ取替作業の計画策定や検満超過メータの有無を確認できること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
97				3	検満メータ抽出			1	条件を設定し、取替対象となるメータ情報等を抽出し、メータ取替用端末にメータ情報等を転送できること。 転送の手法は閉域網のネットワーク通信によるものとする。 ※抽出の条件設定は、「検満年月（範囲を指定）」、「検針区」、「メータ口径（範囲を指定）」、「メータ区分（局メータ、私設メーター）」を最低限含むこと
98				4	取替担当者設定			1	取替を行う担当作業員を設定できること。
99				5	水道取替一覧出力			1	メータ取替情報一覧表を出力できること。取替担当者設定後に出力することを想定している。
100				6	メータ取替入力	1	取替作業	1	「メータ取替」の作業内容に対応できること。作業後、メータ取替用端末で以下の情報を入力できること。 ①「引上・取付指針」、②「取付メータ番号」、③「取付メータ検満年月」、④「メータ取替日」、⑤「メーター口径」、⑥「メーター桁数」、⑦「旧メーター使用水量」
101						2	取替案内	1	取替作業後には作業員が携帯する小型プリンターより「水道メーター定期取替のお知らせ」を発行できること。記載する内容は、メーター口径、取付日、旧メーター引上指針、前回検針指針、旧メーター使用水量、使用期間、新メーター取付指針、施行者とする。
102						3	取替エラー	1	取替作業終了後データについて、取替データ抽出時の状況と異なるものや取替指針が基準水量を大きく上回るものなどの異常について一覧を確認し、随時手処理で調定有無を判断し入力できること。その際、エラーとして出力する条件は導入時に指定できるものとする。
103				7	メータ取替更新	1	更新	1	メータ取替用端末で入力したメータ情報が、顧客管理用端末に更新されること。
104		3	スマートメーター	1	検針結果の取り込み			1	スマートメーター設置水栓については本システムとは別の伝送専用端末にて検針結果データを受信している。受信した検針結果データを本システムの検針履歴として取り込みを行えること。  (別紙4) システム間連携レイアウト 参照

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
105		4	井戸認定受付	1	受付	1	共通	1	井戸水を使用し、使用した井戸水を下水道に接続し、流しているがメータの設置が困難な使用者について、井戸使用水量の認定受付を行い認定水量をもって料金賦課を行う。 井戸使用水量の認定受付については使用人数、認定水量、使用場所（便所・台所・風呂・洗面・洗濯・掃除等）を履歴として管理できること。
106								2	井戸認定が必要な使用者については、使用場所・人数の聞き取りなど通常の受付業務と異なる対応を行う必要があるため、水栓の照会画面等で井戸認定が必要な水栓であることが視覚的に判断可能な表示にすること。
107						2	認定受付	1	井戸認定が必要な使用者の認定内容の登録・変更を行うことができること。
108						2	その他	1	井戸認定水量の認定を行う必要がある水栓について、水栓ごとの使用状況（使用場所、使用人数等）をCSV出力できること。
109		5	特殊契約	1	下水減量・加算メータ			1	下水道に流入していない水量をはかり下水道使用量から減算する減量メーター、下水道に流入している水量をはかり下水道使用量に加算する加算メーターの登録・修正ができること。 ただし、上記減量・加算メータの使用量でもって調定・請求も可能とすること。
110								1	井戸水が下水道に流入した水量を計量し、調定・請求が可能なメータの登録・修正ができること。 ただし、井水メータでもって「4-5-1 下水減量・加算メータ」と同様の処理も可能とすること。
111								1	集合住宅等で水道局メータ（親）の先に戸別の私設メータ（子）が存在する場合、戸別に料金を請求できること。
112								2	親メーターの水量と対応する子メーターの合算水量との間に一定以上の差が生じた場合に、親メーター（水栓）または親子の差（仮水栓）への料金賦課ができること。また、集合住宅等で発生する親メータと子メータの合計との差引使用量につき、それぞれの使用量や差水量等を建物ごとに一覧で表示させ、計算したチェックリストの出力も可能なこと。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
113						2	定量計算	1	井戸水を使用し、使用した井戸水を下水道に接続し、流しているがメータの設置が困難な使用者について、定量分を請求できること。
		6	水栓集計						水栓の開閉栓状況、件数を条件を指定して集計し、CSV出力できること。
114									
115	5 調定業務	1	調定処理	1	定期調定	1	定期調定	1	毎月1～10日、11～20日の検針単位ごとに、検針結果に基づき、料金を調定できること。料金計算方法は口径別料金を採用している。
						2	毎月請求	1	納付方法が口座振替かつ毎月請求を希望されるお客様を対象に、毎月引き落としに対応できること。隔月検針で調定する料金を毎月1期・毎月2期と2分割で請求すること。
						3	延滞料金・遅延損害金の加算	1	納期限までに支払いのない使用者へ延滞料金及び遅延損害金を請求できること。
						2	中止・閉栓調定	1	中止・閉栓作業時に確認した指針をもって使用量を算出し、料金を調定できること。
						3	し尿汲み取り手数料調定	1	上下水道局において、し尿汲み取り手数料の収納委託を請け負っている。汲み取り対象者の汲み取り量・汲み取り日・汲み取り手数料の管理ができること。
116									
117									
118									
119								1	上下水道局において、し尿汲み取り手数料の収納委託を請け負っている。汲み取り対象者の汲み取り量・汲み取り日・汲み取り手数料の管理ができること。
								2	し尿収集委託先から、汲み取り対象者の汲み取り量データを取り込み、汲み取り手数料を算出できること。
120									(別紙4) システム間連携レイアウト 参照

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要		
121						2	請求	1	算出したし尿汲み取り手数料は、水道料金と併せて請求を行えること。		
								2	水道料金の請求に合わせ、水道料金の定期調定が確定する時点で請求していないし尿汲み取り手数料調定を合算すること。（水道料金 1 調定に対して汲み取り手数料調定が複数件発生する場合も存在する）		
122											
123					4	随時調定		1	前回検針日、今回検針日、使用日数、前回指針、今回指針、使用量、用途、金額を自由に設定し、随時的な新規料金の調定ができること。		
124					5	料金計算（水道）	1	一般用	1	基本料金と従量料金からなる料金単価表に基づき、用途が一般用（家事用、営業用、工場用）の使用者の料金を算出できること。	
								2	公衆浴場	1	使用量が一定の使用量以下となる場合、固定の金額となり、それ以上の使用量の場合は一定の単価で用途が公衆浴場の使用者の料金を算出できること。
125							3	船舶用	1	基本料金がなく、単価固定の従量料金制の料金表に基づき、用途が船舶用の使用者の料金を算出できること。	
								4	臨時用	1	使用量が一定の使用量以下となる場合、固定の金額となり、それ以上の使用量の場合は一定の単価で用途が臨時用の使用者の料金を算出できること。
126											
127								5	共同住宅における特例計算（みなし通常世帯方式）	1	本市の上下水道料金は使用量が増すにつれて、料金単価もあがる累進性となっている。そのため、共同住宅の需要家については、指針の使用量のまま料金を算出した場合よりも料金が低廉になるよう特例制度が存在する。 3戸以上の住宅等で構成されている各戸にメーターが設置されていない共同住宅については、使用者からの申請に基づき、料金計算における口径区分を13・20ミリメートルに設定したうえで料金を算出できること。また、使用者照会画面では特例制度を適用していることが端末使用者に分かるつくりにつくこと。
128											



No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
129						6	共同住宅における特例計算（みなし世帯方式）	1	上記の「みなし通常世帯方式」特例と同じように、3戸以上の住宅等で構成されている各戸にメーターが設置されていない共同住宅については、使用者からの申請に基づき、使用量を戸数で分割して一戸あたりの水量を算出し、料金計算における口径区分を13・20ミリメートルに設定したうえで算出した金額に戸数を乗じることで料金を算出できること。また、使用者照会画面では特例制度を適用していることが端末使用者に分かるつくりにする。
				6	料金計算（下水道）	1	一般用	1	基本料金と従量料金からなる料金単価表に基づき、用途が一般用の使用者の料金を算出できること。
130									
131						2	農業集落排水処理施設使用料	1	基本料金と従量料金からなる料金単価表に基づき、事業区分が農業集落排水の使用者の料金を算出できること。ただし基本料金と従量料金からなる料金単価表は一般用と同一である。
						3	林業集落排水処理施設使用料	1	基本料金と従量料金からなる料金単価表に基づき、事業区分が林業集落排水の使用者の料金を算出できること。ただし基本料金と従量料金からなる料金単価表は一般用と同一である。
132									
133						4	地域し尿処理施設使用料	1	基本料金と従量料金からなる料金単価表に基づき、事業区分が地域し尿の使用者の料金を算出できること。ただし基本料金と従量料金からなる料金単価表は一般用と同一である。
						5	共同住宅における特例計算（みなし通常世帯方式）	1	本市の上下水道料金は使用量が増すにつれて、料金単価もあがる累進性となっている。そのため、共同住宅の需要家については、指針の使用量のまま料金を算出した場合よりも料金が低廉になるよう特例制度が存在する。 3戸以上の住宅等で構成されている各戸にメーターが設置されていない共同住宅については、使用者からの申請に基づき、料金計算における口径区分を13・20ミリメートルに設定したうえで料金を算出できること。また、使用者照会画面では特例制度を適用していることが端末使用者に分かるつくりにする。
134									
135						6	共同住宅における特例計算（みなし世帯方式）	1	上記の「みなし通常世帯方式」特例と同じように、3戸以上の住宅等で構成されている各戸にメーターが設置されていない共同住宅については、使用者からの申請に基づき、使用量を戸数で分割して一戸あたりの水量を算出し、料金計算における口径区分を13・20ミリメートルに設定したうえで算出した金額に戸数を乗じることで料金を算出できること。また、使用者照会画面では特例制度を適用していることが端末使用者に分かるつくりにする。
						7	公衆浴場	1	使用量が一定の使用量以下となる場合、固定の金額となり、それ以上の使用量の場合は一定の単価で用途が公衆浴場の料金を算出できること。
136									

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
137				7	料金計算（し尿汲み取り手数料）	1	し尿汲み取り手数料	1	基本料金と従量料金からなる料金単価表に基づき、汲み取り対象者の料金を算出できること。
				8	料金計算（共通）	1	日割り計算	1	使用開始時の初回請求分及び使用休止時の精算請求分については、使用日数に応じた基本料金の日割り計算を行えること。
138									
139		2	推定精算					1	検針時において、何らかの理由により検針ができず使用量を推定した場合、次回以降の定期検針時に行う料金の精算ができること。 検針できた月から検針できた月までの使用量をもとに料金の再計算を行い、再計算した料金から推定使用量で計算した料金を差し引いた金額を今回検針料金として算出できること。
								2	推定精算処理については、定期検針時の検針端末上でも計算を行い、検針票を出力できること。
								3	推定精算処理を自動処理できない案件があれば、エラーリストとして出力できること。
140									
141									
142		3	調定更正	1	調定更正共通			1	調定済料金を変更したことを使用者に案内するため、「料金修正通知書」を発行できること。修正前水量、修正前料金、修正後水量、修正後料金、修正事由をお知らせする。
								2	内部稟議用に調定更正伺いを出力できること。
143									
144				2	漏水減額	1	漏水	1	漏水月から基準となる水量を引いた水量のうち、水道は1/2のみ、下水道は漏水箇所が下水流入しているか未入流であるかで1/2もしくは全量を選択することで自動に漏水月使用量から減量した量を決定認定使用量とし、再計算した料金で、減額を行えること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
145						2	共通	1	基準となる水量は基本的には前年同月使用量だが、直近3調定の平均水量など柔軟な対応も可能であること。ふさわしくない使用量の場合は任意の量で認定できること。
146				3	生活保護減免			1	生活保護の受給者に対しては下水道使用料を減免する制度が存在する。調定前の検針データから生活保護受給者の下水道使用料を一括で減免できること。減免した料金で調定を作成できること。 照会画面上、生活保護減免対象者であることが視覚的に判断できる表示とし、生活保護減免対象者の登録・廃止を職員で更新できること。
147							2	生活保護減免を行った調定ごとに、件数、金額を集計し、CSV出力できること。	
148				4	調定異動			1	上記までの事由に基づくことがなくとも、調定済料金に対して水量を更正し、再計算した料金で調定できること。また、職員による調定額の強制更正も可能であること。
149		4	請求	1	納付書	1	当初納付書発行	1	口座情報の登録がないお客様への料金の請求のため納付書を発行できること。
150						2	納付書再発行	1	お客様からの依頼や料金の変更等を理由に水道料金等納入済通知書兼領収証書を再発行できること。
151								2	納付書の再発行時は金額と納期限を指定して発行できること。
152								3	同一使用者における複数の調定に対する請求を1枚の納付書として発行できること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
153						3	庁内一括請求	1	水栓の使用者・支払者が富山市の各部局である場合、それぞれの料金を一括で富山市役所出納課が払い出しを行っている。 上記の水栓については料金を1枚の合算納付書として出力できること。
154								2	庁内一括請求の対象者内訳を抽出し富山市役所財務会計システムへ取り込むためのデータ作成を行えること。  (別紙4) システム間連携レイアウト 参照
155						4	納付書表示	1	納付書は消費税総額表示に対応していること。
156								2	請求金額が30万円を超える納付書については、「この用紙ではコンビニエンスストアでのお支払いはできません」と表示できること。
157								3	納付書はコンビニ用のバーコード及びe!-QR表示及び収納金融機関用のOCRバンド表示に対応できること。
158				2	口座振替	1	口座振替データ作成	1	該当月の検針分を翌月15日（休日の場合翌営業日）に振替されるよう金融機関に依頼するため、対象者の各金融機関毎口座振替データを全銀協フォーマットで作成できること。 毎月請求を希望されるお客様については、口座振替データを毎月作成できること。  (別紙4) システム間連携レイアウト 参照
159						2	随時振替	1	お客様からの依頼や調定の変更などによる理由で直近の振替日を指定できること。
160						3	口座振替停止入力	1	お客様からの依頼などによる理由で当初予定していた口座振替の停止を行えること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
161						4	口座振替停止依頼処理	1	口座振替データを各金融機関に送付した後に振替えてはいけない理由が発生した場合、振替停止依頼を行うため、振替停止依頼書を出力できること。振替日を指定して振替停止依頼書を出力した対象者の一覧を表示できること。
162						5	口座再振替	1	1度目の振替で振替不能となったもののうち、振替不能理由が資金不足の場合については、次回振替に振替できるよう「5-3-2-1 口座振替データ作成」で口座振替データを作成できること。
163						6	口座登録完了のお知らせ	1	口座振替登録の申請があったお客様に対して、口座振替登録が完了したことを案内するお知らせを発行できること。
164		5	調定集計					1	調定月別、調定年別、用途別、口径別、（下水道は処理区別）に使用量、調定額、件数を集計し、CSV出力できること。
165								2	調定月別に調定更正を行った対象者の一覧表を作成できること。
166								3	調定月別に調定更正を行った調定を集計し、増減水量・増減料金を算出できること。
167	6 収納業務	1	料金支払い	1	納付書支払	1	上下水道局窓口	1	上下水道局窓口で収納を行い、消込処理までの間、仮収入として入金状況を管理できること。収納の際、システムより水道料金等納入済通知書兼領収証書を発行できること。
168						2	コンビニ収納	1	各種コンビニエンスストアや支払いアプリによる収入速報データ、確報データの受信及び収入への反映を行う。その際、速報／確報／取消データ集計表、コンビニ確報データ一覧表をCSV出力できること。  (別紙4) システム間連携レイアウト 参照

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
169								2	コンビニ収納分については、収入日ごとに企業会計システムへ収入入力を行うため、会計区分を細分化した項目ごとに収入内訳（件数・金額）をCSV出力できること。
170				2	口座振替	1	口座振替結果返却	1	口座振替の結果をシステムに反映する。金融機関からはデータ形式で受信する。  （別紙4）システム間連携レイアウト 参照
171						2	再振替通知兼督促状発行	1	資金不足等で当初振替ができなかった使用者に対して次回口座振替予定と振替口座への入金依頼をするため督促状と兼用した再振替通知を発行できること。
172						3	振替不能通知発行	1	当初口座振替結果が口座解約や顧客依頼などで当初振替できなかった場合、使用者に対して振替ができなかった旨の案内及び納付書での料金の支払いを依頼するため督促状と兼用した振替不能通知を発行できること。
173						4	口座振替済通知発行	1	口座振替後に料金の検針日、使用期間、使用量、金額、振替日、振替口座を案内するため口座振替済通知を発行できること。 通常、定期検針分だと検針票にて振替結果をお知らせしているが、次回検針の前に休止予定がある場合や、定期検針分以外、お客様が希望する場合は発行を行う。 上記機能については、システムからの即時出力のほか、口座振替後に希望者に一括で送付できるようバッチ処理にも対応できること。
174						5	口座振替手数料算定	1	4,10月末に口座振替手数料を支払うため、各金融機関ごとの口座振替件数を集計し、CSV出力できること。
175		2	消込処理	1	消込			1	日次での処理として、指定金融機関が作成する収入日ごとの料金収入消込データを取り込み、システムへ消込を行えること。  （別紙4）システム間連携レイアウト 参照
176								2	調定金額と一致しない収入についても一部入金又は過誤納として消込み処理ができること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
177		3	還付	1	還付通知書			1	口座情報の登録がない使用者へ料金の過誤納により還付金が発生した旨を通知するため還付通知書の発行を行えること。使用者へ提出いただくための還付金口座振込依頼書の発行を行えること。
178				2	口座還付	1	口座還付依頼	1	口座情報の登録がある使用者に発生した過誤納金を登録口座へ還付できること。口座への振込を依頼するため、指定金融機関用の還付振込依頼伝送データを作成する。  (別紙4) システム間連携レイアウト 参照
179				3	充当	1	充当入力	1	料金が過誤納となり発生した過誤納金を現在未入金となっている未納額に充当できること。別水栓調定への充当も可能であること。
180						2	充当通知書発行	1	過誤納金を充当したことをお知らせするため、充当通知書を発行できること。充当先料金、充当金額、充当後残額をお知らせする。
181				4	過誤納未済			1	過誤納金の還付・充当処理が未済である対象者を抽出できること。
182		4	納入証明書					1	使用者が水道料金等を支払った場合に、支払ったことを証明する書類「納入証明書」の発行ができること。
183		5	収入集計					1	収入日別、収入月別、調定月別、調定年別、(下水道は処理区別)に収入額、件数を集計し、CSV出力できること。下水道の処理区別集計については処理区域ごとの総水量も集計できること。
184								2	コンビニ収入分については、収納日ごとに件数、金額を集計し、CSV出力できること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
185								3	共通納税システム収入分については、納付区分、収納日ごとに件数、金額を集計し、CSV出力できること。
		6	還付集計					1	還付支払日・充当振替日ごとに対象者をCSVで一覧出力できること。一覧については対象者の還付・充当明細を表示できること。
								2	過誤納発生対象者を一覧で出力できること。
		7	未納集計					1	調定月別、調定年別に未納額、件数を集計できること。
186									
187									
188									
189	7 滞納整理業務	1	督促処理					1	当初納付書の納期限を越えた水道、下水道料金に関して、納期限の翌月に料金の支払を促す督促状を作成できること。
								2	指定した調定ごとに督促状の出力停止・停止解除ができること。
		2	催告処理					1	督促状の納期限を越えた水道、下水道料金に関して、納期限の翌月に料金の支払いを促す催告状を作成できること。
								2	指定した調定ごとに催告状の出力停止・停止解除ができること。
190									
191									
192									



No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
193		3	個別催告					1	指定した対象者に対して、個別に催告書を発行できること。
194								2	個別に催告書を出力する場合は、複数用意する催告文様式から選択して指定した催告文を表示できること。 表示させる催告文様式については導入時に指定ができること。
195		4	未納明細書発行					1	未納の使用者に対して、対象調定を選択して未納額を案内する「未納明細書」を発行できること。
196		5	分納誓約					1	分納誓約者の支払計画に対して、支払回数・支払金額・支払期限の指定入力を行う事ができ、計画にあった納付書の発行が可能なこと。滞納者に対して「分納誓約書」の発行が可能であること。
197		6	給水停止予告処理					1	催告状の指定期限経過後、いまだ未納の使用者に対し、指定納期限と供給停止の予告を通知するため、「給水停止予告」を発行できること。また、事前に発行予定者の一覧を出力できること。
198								2	給水停止予告を発行の際、システムにて、収納担当区域毎に、発行対象者を選別する機能を有すること。また、発行対象者の滞納整理簿を作成できること。
199								3	指定した対象者に対して、個別に給水停止予告を発行できること。
200		7	給水停止					1	出力した給水停止予告の指定期限後、いまだ未納の使用者に対し、「給水停止通知書」を発行できること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
201								2	給水停止通知書の指定期限後、未納の使用者に対し、「給水停止最終予告書」を発行できること。
202								3	給水停止最終予告書に対して、反応がなく未納の使用者に対し、「給水停止執行通知書」を発行できること。
203								4	給水停止通知書、給水停止最終予告書、給水停止執行通知書を発行の際、システムにて、収納担当区域毎に発行対象者を選別する機能を有すること。
204		8	中止中催告書処理					1	退去等の理由により、料金を滞納した状態で、現在水栓が「中止中」状態の使用者に対し、催告書を発行できること。また、事前に発行予定者の一覧を出力できること。
205								2	中止中催告書発行の際、システムにて、収納担当者毎に発行対象者を選別する機能を有すること。また、発行対象者の滞納整理簿を作成できること。
206								1	収納担当者ごとに滞納者を把握するため、任意の抽出条件設定による未納者リストをCSVで随時出力可能であること。(調定年月、期間指定、未納回数指定、担当区指定、水栓状態(開栓・中止中)、井戸単独使用者指定など)
207		10	執行停止・徴収停止処理					1	生活困窮・居住不明などの理由で原則徴収を行わない対象者に対し、徴収停止(上水分)、執行停止(下水分)の登録を行えること。また、停止日の登録を行えること。停止理由の消滅により徴収停止・執行停止の解除を行えること。また、解除日の登録を行えること。
208								2	収納担当区域毎に停止対象者を管理するため、「執行停止・徴収停止対象者一覧」を抽出し、CSV出力できること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
209		11	不納欠損	1	不納欠損・債権放棄（未収金）			1	債権放棄（上水分）及び不納欠損（下水分）の管理を行えること。
								2	督促状の到達翌日から起算して時効経過した債権及び任意で追加する時効経過前の債権をシステムから一括削除できること。
								3	事前に、「不納欠損対象者一覧」を抽出し、収納担当者が不能欠損事由をシステムに入力できること。
								4	不納欠損、債権放棄額を確認するため、「事由別集計表」をCSV出力できること。
210									
211									
212									
213				2	不納欠損・債権放棄処理			1	時効による不納欠損・債権放棄処理は、時効期間到来分のほか、当年度末までに時効をむかえる債権についても欠損処理の対象とすること。
								2	上水・下水で期間の異なった消滅時効に対応できること。（例：上水2年、下水5年⇒民法改正後 上下水とも5年）
214									
215	工業用水道	1	工業用水道管理	1	新規登録			1	工業用水道水栓を新規に登録できること。登録内容は下記の項目とする。 使用企業情報（郵便番号、住所、企業名、電話番号）、契約情報（受水工場名、住所、契約日、契約日量）、工水メーター情報（メーター種別、口径、番号、検満年月、取付日）、納付方法
				2	照会	1	契約情報照会	1	工業用水道水栓における下記の項目が確認できること。 使用企業情報（郵便番号、住所、企業名、電話番号）、契約情報（受水工場名、住所、契約日、契約日量）、工水メーター情報（メーター種別、口径、番号、検満年月、取付日）、納付方法
216									

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
217						2	料金照会	1	使用企業に紐づく調定金額の下記の項目が確認できること。 調定年月、契約日量、使用日数、断水時間、超過水量、金額（基本料金、超過料金、合計、合計消費税）
218						3	検針履歴照会	1	使用者に紐づく検針情報の履歴のうち下記項目が確認できること。 使用日ごとの使用量、使用日ごとの断水時間、月単位の合計水量、月単位の合計断水時間、合計超過水量
219						4	収納履歴照会	1	調定に紐づく収入のうち、下記項目が確認できること。 領収日、収入日、収納方法、領収場所、収入金額、収入の履歴
220				3	工水検針データ取り込み	1	検針データ取り込み	1	別システムで管理している工業用水道自動検針情報の取り込みが行えること。毎月1日～31日までの検針情報を翌月1日に一括で取り込みを行っている。  （別紙4）システム間連携レイアウト 参照
221						2	水量のお知らせ	1	使用年月ごとに水量のお知らせを発行できること。記載する項目は使用水量（使用日毎）、超過水量（使用日毎）、断水時間（使用日毎）、合計使用日数、合計使用水量、合計超過水量、基本料金、超過料金、合計料金、合計消費税額とする。
222				4	料金計算	1	料金計算（工水）	1	契約日量に応じて算出する基本使用料金（責任水量制）と超過水量に応じて算出する超過料金からなる工業用水道料金の算出を行えること。
223				5	調定	1	定期調定	1	毎月、「8-1-3 工水検針データ取り込み」で取り込んだ検針情報に基づき、料金を調定できること。
224						2	調定集計	1	調定月別に水量、調定額、件数を集計し、CSV出力できること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
225				6	請求	1	納付書発行	1	口座情報の登録がないお客様への料金の請求のため納付書を発行できること。
						2	口座振替	1	該当月の調定を翌月25日（休日の場合翌営業日）に振替されるよう金融機関に依頼するため、対象者の各金融機関毎口座振替データを全銀協フォーマットでデータ作成できること。  （別紙4）システム間連携レイアウト 参照
226				7	各種統集計等作成	1	工業用水道集計表	1	特定年、特定年月を指定して使用契約企業を一覧で表示し工業用水道集計をCSV出力できること。
227									

No.	業務名	No.	帳票名	項目	対応機能
1	受付業務		帳票なし		
2	開閉栓業務		帳票なし		
3	検針業務	1	再検針調査票	[基本情報]作成日、受付日(出力日)、お客様番号、作業区、検針区、検針員氏名、開閉栓状態、装置場所、装置方書、使用者名、電話番号、送付先、送付先方書、送付先氏名、送付先電話番号、開閉日、加算/減算メータ [メータ情報]口径、検満年月、メータ種別、メータ位置、メータ位置詳細、メータ番号、特記事項 [使用水量]検針日(過去12ヶ月分)、指示数(過去12ヶ月分)、水道使用量(過去12ヶ月分)、下水道認定水量(過去12ヶ月分)、下水道加算/減算水量(過去12ヶ月分)、検針状況(過去12ヶ月分)	4-1-2-6
		2	検針票	[装置場所]装置場所方書、使用者名、お客様番号、検針日(年月日)、使用期間 [水道]今回指示数、前回指示数、メーター取替までの使用量、合計使用量 [下水道]下水道認定水量、井戸認定水量、*(下水道に減算・加算メーターが設置されている場合*)下水減算・加算メーター水量、合計認定水量 [し尿]汲み取り日、汲み取り量、水道税込概算額、下水税込概算額、し尿汲み取り手数料、税込合計概算額、税込合計消費税額、(口座振替であれば)当初振替予定月、当初振替予定日、検針員、(異常水量時メッセージ表示)メッセージ欄 [前回使用料金口座振替済のお知らせ]前回請求年月分、前回振替日、前回水道使用量、前回下水認定水量、前回税込水道料金、前回税込下水道使用料、前回税込合計額、前回合計消費税額	4-1-2-2
		3	後出力用検針票	[送付先(あれば)]送付先郵便番号、送付先住所、送付先方書、送付先宛名 [装置場所]装置場所住所、方書、使用者名、お客様番号、検針日(年月日)、使用期間 [水道]今回指示数、前回指示数、メーター取替までの使用量、合計使用量 [下水道]下水道認定水量、井戸認定水量、*(下水道に減算・加算メーターが設置されている場合*)下水減算・加算メーター水量、合計認定水量 [し尿]汲み取り日、汲み取り量、水道税込概算額、下水税込概算額、し尿汲み取り手数料、税込合計概算額、税込合計消費税額、(口座振替であれば)当初振替予定月、当初振替予定日、検針員、(異常水量時メッセージ表示)メッセージ欄 [前回使用料金口座振替済のお知らせ]前回請求年月分、前回振替日、前回水道使用量、前回下水認定水量、前回税込水道料金、前回税込下水道使用料、前回税込合計額、前回合計消費税額	4-1-2-5
		4	検針票再発行	[送付先(あれば)]送付先郵便番号、送付先住所、送付先方書、送付先宛名 [装置場所]装置場所住所、方書、使用者名、お客様番号、検針日(年月日)、使用期間 [水道]今回指示数、前回指示数、メーター取替までの使用量、合計使用量 [下水道]下水道認定水量、井戸認定水量、*(下水道に減算・加算メーターが設置されている場合*)下水減算・加算メーター水量、合計認定水量 [し尿]汲み取り日、汲み取り量、水道税込概算額、下水税込概算額、し尿汲み取り手数料、税込合計概算額、税込合計消費税額、(口座振替であれば)当初振替予定月、当初振替予定日、検針員、(異常水量時メッセージ表示)メッセージ欄 [前回使用料金口座振替済のお知らせ]前回請求年月分、前回振替日、前回水道使用量、前回下水認定水量、前回税込水道料金、前回税込下水道使用料、前回税込合計額、前回合計消費税額*(口座振替割引制度適用済の調定の場合*)口座振替割引額(税別)	4-1-2-8
		5	メーター取替対象一覧	お客様番号、使用者名、装置場所、方書、口径、旧メーター番号、前回指針	4-2-5
		6	水道メーター定期取替のお知らせ	[装置場所]装置場所、方書、お客様番号、使用者名 [メータ情報]メーター口径、取付日、旧メーター引上指針、前回検針指針、旧メーター使用水量、使用期間、新メーター取付指針、施行者	4-2-6

No.	業務名	No.	帳票名	項目	対応機能
		7	水量差通知	[送付先(あれば)]送付先郵便番号、送付先住所、送付先方書、送付先宛名 [装置場所]装置場所住所、方書、使用者名、お客様番号 [今回のご使用量・概算額のお知らせ]今回検針日、使用期間、親メーター水量、各部屋子メーターの合計水量、算定水量、水道税込概算額、下水道税込概算額、税込合計概算額	4-5-3-1
		8	集合住宅親子水量差チェックリスト	お客様番号、使用者名、集合住宅名、装置場所、前回検針日、前回指針、今回検針日、今回指針、親メーター水量、子メーター合計水量、算定水量差、算定水道料金、算定下水道使用料	4-5-3-1
4	調定業務	1	料金修正通知書	[送付先(あれば)]送付先郵便番号、送付先住所、送付先方書、送付先宛名 [装置場所]装置場所、装置場所方書 [基本情報]発行日、使用者、お客様番号、通知番号、修正事由、調定年月 [修正前]水道使用量、水道料金、下水道認定水量、下水道使用料、し尿汲み取り量、し尿汲み取り手数料、合計金額、合計消費税額 [修正後]水道使用量、水道料金、下水道認定水量、下水道使用料、し尿汲み取り量、し尿汲み取り手数料、合計金額、合計消費税額	5-3-1
		2	調定更正伺(内部稟議用)	[基本情報]お客様番号、使用者名、装置場所、口径、修正事由、調定年月、決裁欄 [当初]給水使用量、水道料金、水道消費税、下水道認定水量、下水道使用料、下水道消費税、し尿汲み取り量、し尿汲み取り手数料、し尿汲み取り消費税 [修正(増減)]水道使用量、水道料金、水道消費税、下水道認定水量、下水道使用料、下水道消費税、汲み取り量、し尿汲み取り手数料、し尿汲み取り消費税 [修正後]水道使用量、水道料金、水道消費税、下水道認定水量、下水道使用料、下水道消費税、汲み取り量、し尿汲み取り手数料、し尿汲み取り消費税 [収入済額]水道料金、下水道使用料、し尿汲み取り手数料 [過不足額]水道料金、下水道使用料、し尿汲み取り手数料	5-3-1
		3	当初納付書	[送付先(あれば)]送付先郵便番号、送付先住所、送付先方書、送付先宛名 [装置場所]装置場所、装置場所方書 [基本情報]発行日、お客様番号、使用者名、口径、用途、調定年月、指定期限、調定区分、富山市上下水道事業管理者名、使用期間 [料金]水道使用量、水道料金、下水道認定水量、下水道使用料、し尿汲み取り日、し尿汲み取り量、し尿汲み取り手数料、合計額、合計消費税額、OCR印字、バーコード印字、eL-QR印字	5-4-1-1
		4	水道料金等納入済通知書兼領収証書(再発行用納付書)	[送付先(あれば)]送付先郵便番号、送付先住所、送付先方書、送付先宛名 [装置場所]装置場所、装置場所方書 [基本情報]発行日、お客様番号、使用者名、口径、用途、調定年月、指定期限、調定区分、富山市上下水道事業管理者名、使用期間 [料金]水道使用量、水道料金、下水道認定水量、下水道使用料、し尿汲み取り日、し尿汲み取り量、し尿汲み取り手数料、合計額、合計消費税額、OCR印字、バーコード印字、eL-QR印字	5-4-1-2
		5	水道料金等納入済通知書兼領収証書(複数期別用納付書)	[送付先(あれば)]送付先郵便番号、送付先住所、送付先方書、送付先宛名 [装置場所]装置場所、装置場所方書 [基本情報]発行日、お客様番号、使用者名、口径、用途、調定年月(複数指定)、指定期限、調定区分、富山市上下水道事業管理者名、使用期間 [料金]水道使用量、水道料金、下水道認定水量、下水道使用料、し尿汲み取り日、し尿汲み取り量、し尿汲み取り手数料、合計額、合計消費税額、OCR印字、バーコード印字、eL-QR印字	5-4-1-2
		6	口座振替停止依頼書	[宛名]金融機関住所、金融機関名 [停止依頼]作成日、金融機関コード、金融機関名、振替日、停止理由、支店名、支店コード、預金種目コード、口座番号、口座名義人(フリガナ)、金額、調定年月日、発信元氏名、発信元電話番号、発信元FAX番号	5-4-2-4



No.	業務名	No.	帳票名	項目	対応機能
		7	口座登録完了のお知らせ	[送付先(あれば)]送付先郵便番号、送付先住所、送付先方書、送付先宛名 [装置場所]装置場所、装置場所方書 [基本情報]発行日、使用者名、お客様番号 [口座情報]金融機関名、支店名、預金種目、口座番号(下3桁)、口座名義人、振替開始日	5-4-2-6
		8	調定更正一覧表	●調定月毎に調定を更正した対象者の一覧表。以下の項目を表示する。 [基本情報]お客様番号、使用者、請求サイクル、調定年月、当初調定日 [更正前]水道使用量、水道料金、下水道認定水量、下水道使用料、し尿汲み取り量、し尿汲み取り手数料、合計金額、合計消費税額 [更正後]水道使用量、水道料金、下水道認定水量、下水道使用料、し尿汲み取り量、し尿汲み取り手数料、合計金額、合計消費税額 [増減]増減水量、合計金額、合計消費税額 [更正前合計]水道使用量、水道料金、下水道認定水量、下水道使用料、し尿汲み取り量、し尿汲み取り手数料、合計金額、合計消費税額 [更正後合計]水道使用量、水道料金、下水道認定水量、下水道使用料、し尿汲み取り量、し尿汲み取り手数料、合計金額、合計消費税額 [増減合計]増減水量、合計料金、合計消費税額	5-5
5	収納業務	1	再振替通知書兼督促状	[送付先(あれば)]送付先郵便番号、送付先住所、送付先方書、送付先宛名 [装置場所]装置場所、装置場所方書 [基本情報]発行日、使用者名、お客様番号 [口座情報]当初振替日、再振替日、金融機関名、支店名、預金種目、口座番号(下3桁)、口座名義人 [料金]調定月、使用期間、水道料金、下水道使用料、し尿汲み取り手数料、合計額、合計消費税	6-1-2-2
		2	口座振替不能通知兼督促状	[送付先(あれば)]送付先郵便番号、送付先住所、送付先方書、送付先宛名 [装置場所]装置場所、装置場所方書 [基本情報]発行日、使用者名、お客様番号、調定年月、調定区分、指定期限、富山市上下水道事業管理者名 [口座情報]当初振替日、金融機関名、支店名、預金種目、口座番号(下3桁)、口座名義人 [料金]前回検針日、今回検針日、水道使用量、水道料金、下水道認定水量、下水道使用料、し尿汲み取り量、し尿汲み取り手数料、合計額、合計消費税額、OCR印字、バーコード印字、eL-QR印字	6-1-2-3
		3	口座振替済通知書	[送付先(あれば)]送付先郵便番号、送付先住所、送付先方書、送付先宛名 [装置場所]装置場所、装置場所方書 [基本情報]発行日、使用者名、お客様番号 [口座情報]金融機関名、支店名、預金種目、口座番号、口座名義人 [料金]今回検針年月、使用期間、水道使用量、水道料金、下水道認水定量、下水道使用料、し尿汲み取り量、し尿汲み取り手数料、合計額、合計消費税額、*(口座振替割引制度適用済の調定の場合*)口座振替割引額(税別)	6-1-2-4
		4	還付・充当通知書	[送付先(あれば)]送付先郵便番号、送付先住所、送付先方書、送付先宛名 [装置場所]装置場所、装置場所方書 [基本情報]発行日、使用者、お客様番号、富山市上下水道事業管理者、通知番号 [過誤納]調定年月、調定額、納付日、納入済額、水道料金過誤納額、下水道使用料過誤納額、し尿汲み取り手数料過誤納額、合計過誤納額、過誤納発生事由 [充当先]調定年月、水道料金、下水道使用料、し尿汲み取り手数料、合計充当額、差引未納額 [還付先]還付金額、振込予定金融機関名、振込予定支店名、振込予定口座番号(一部非表示)・預金種目・口座名義人	6-3-1 6-3-3
		5	還付金口座振込依頼書	[基本情報]お客様番号、使用者名、過誤納金額 [お客様記入欄]記入日、住所又は所在地、氏名又は法人名、振込先金融機関名、振込先支店名、振込先口座番号、預金種目、口座名義人	6-3-1
		6	水道料金等納入証明書	[装置場所]装置場所、装置場所方書 [基本情報]発行日、使用者名、お客様番号、調定年月、口径、富山市上下水道事業管理者名 [納入内訳]調定年月、水道使用量、水道料金、下水道認定水量、下水道使用料、し尿汲み取り量、し尿汲み取り手数料、合計金額、合計消費税額	6-4



No.	業務名	No.	帳票名	項目	対応機能
6	滞納整理業務	1	督促状兼領収証書	[送付先(あれば)]送付先郵便番号、送付先住所、送付先方書、送付先宛名 [装置場所]装置場所、装置場所方書 [基本情報]発行日、使用者名、お客様番号、調定年月、調定区分、指定期限、富山市上下水道事業管理者名 [料金]水道料金、下水道使用料、し尿汲み取り手数料、合計額、合計消費税額、OCR印字、バーコード印字、el-QR印字	7-1
		2	催告状兼領収証書	[送付先(あれば)]送付先郵便番号、送付先住所、送付先方書、送付先宛名 [装置場所]装置場所、装置場所方書 [基本情報]発行日、使用者名、お客様番号、調定年月、調定区分、指定期限、富山市上下水道事業管理者名 [料金]水道料金、下水道使用料、し尿汲み取り手数料、合計額、合計消費税額、OCR印字、バーコード印字、el-QR印字	7-2
		3	催告書	[送付先(あれば)]送付先郵便番号、送付先住所、送付先方書、送付先宛名 [装置場所]装置場所、装置場所方書 [基本情報]発行日、使用者名、お客様番号、調定年月、調定区分、指定期限、富山市上下水道事業管理者名 [料金]水道料金、下水道使用料、し尿汲み取り手数料、合計額、合計消費税額 [催告]指定期日、未納合計額、催告文(複数様式)	7-3
		4	未納明細書	[装置場所]装置場所、装置場所方書 [基本情報]発行日、使用者名、お客様番号、支払者名、納付方法、使用期間 [滞納調定]調定年月、納期限、水道料金、下水道使用料、し尿汲み取り手数料、合計額	7-4
		5	分納誓約書	[装置場所]装置場所、装置場所方書 [基本情報]使用者名、お客様番号 [滞納調定]調定年月日、未納水道料金、未納下水道使用料、未納し尿汲み取り手数料、未納合計金額 [納付計画]支払期限、支払金額	7-5
		6	給水停止予告	[送付先(あれば)]送付先郵便番号、送付先住所、送付先方書、送付先宛名 [装置場所]装置場所、装置場所方書 [基本情報]発行日、使用者名、お客様番号、富山市上下水道局料金課名、指定納付期限 [滞納調定]未納調定年月、滞納年月、未納水道料金、未納下水道使用料、未納し尿汲み取り手数料、未納合計金額	7-6
		7	給水停止通知書	[装置場所]装置場所、装置場所方書、メーター番号 [基本情報]発行日、使用者名、お客様番号、富山市上下水道事業管理者名、指定納付期限、給水停止予定日、給水停止通知文	7-7
		8	給水停止最終予告書	[装置場所]装置場所、装置場所方書、メーター番号 [基本情報]発行日、使用者名、お客様番号、富山市上下水道局料金課名、滞納年月、滞納額、給水停止最終予告通知文	7-7

No.	業務名	No.	帳票名	項目	対応機能
		9	給水停止執行通知書	[装置場所]装置場所、装置場所方書、メーター番号 [基本情報]発行日、使用者名、お客様番号、富山市上下水道事業管理者名、給水停止執行通知文	7-7
		10	中止中催告書	[送付先(あれば)]送付先郵便番号、送付先住所、送付先方書、送付先宛名 [装置場所]装置場所住所、装置場所方書、 [基本情報]発行日、使用者名、お客様番号、 [滞納調定]使用期間、合計滞納額 [滞納詳細]滞納調定年月、滞納水道料金、滞納下水道使用料、滞納し尿汲み取り料金	7-8
		11	中止中滞納者一覧	●水栓状態が「給水中止中」である滞納者の一覧。収納担当区域毎に出力できること。 お客様番号、装置場所住所、使用者名、転出先住所、滞納調定件数、滞納期間、滞納水道料金、滞納下水道使用料、滞納し尿汲み取り手数料、滞納額計	7-8
7	工業用水道収納業務	1	工業用水道使用水量のお知らせ	[基本情報]契約企業名、お客様番号 [使用水量]使用期間、契約水量、使用水量(使用日毎)、超過水量(使用日毎)、断水時間(使用日毎)、合計使用日数、合計使用水量、合計超過水量 [料金]基本料金、超過料金、合計料金、合計消費税額	8-1-3-2
		2	工業用水道料金等納入済通知書兼領収証書	[基本情報]契約企業名、お客様番号 [料金]調定年月、使用期間、基本料金、超過料金、合計料金、合計消費税額	8-1-6-1

No.	業務名	No.	帳票名	項目	対応機能
1	全般	1	水系・町名別集計表	●毎月統計資料 ・各月発生分の水系別調定件数、調定水量、開栓中件数を集計 【発生月】毎 →(水系、町名)毎 →調定件数、調定水量、開栓中件数	1-5-5
2	受付業務		なし		
3	開閉栓業務	1	開閉栓件数調べ	●作業者毎に口径、区域(A区・B区)別で開閉栓作業件数を集計 →作業者名、開栓件数、閉栓件数、中止件数、開閉栓合計件数	3-3
4	検針業務	1	検針登録結果異常報告リスト	作成日、検針日、検針状況、検針区、足順、お客様番号、使用者名、今回指示数、前回指示数、使用量、下水道認定量、報告内容、検針員	4-1-2-7
		2	100万円以上水栓	●検針後に算出された料金が100万円以上の水栓を抽出 →お客様番号、口径、前回指針、今回指針、今回水量、水道料金、水道料金消費税額、下水道使用料、下水道使用料消費税額、合計金額、合計消費税額	4-1-3-2
		3	検針作業件数集計(検針委託料)	●検針員毎に検針件数を集計 →検針員名、対象年月、検針件数	4-1-4-2
		4	水道メーター検満台帳	お客様番号、装置場所、方書、使用者名、水栓状態、検針順、検満年月、メーター種別、口径、型式、メーター番号	4-2-2
		5	検満取替受入データ	取替年月、お客様番号、前回指針、引上指針、使用水量、前回検針日、取付日、メーター種別、口径、型式、メーター番号、取付指針、作業者	4-2-7

No.	業務名	No.	帳票名	項目	対応機能
		6	井戸水使用状況リスト	●年次で井戸認定水量の認定を行う必要がある水栓使用者に使用状況の変更が無いか案内を送付するため、対象水栓を出力する。 お客様番号、郵便番号、送付先住所、送付先方書、使用者名、現在の井戸使用場所(便所・台所・風呂・洗面・選択・掃除等)	4-4-2-1
		7	異動状況集計表	●年度末統計資料 ・旧市町村区域別に口径毎、会計区分毎の開栓件数、中止件数を集計 【旧市町村区域：富山、大沢野、大山、八尾、婦中、山田、細入】毎 →口径別 →(会計区分：水道、公共下水道、農業集落排水、林業集落排水、地域し尿)別 →「開栓中」件数、「中止中」件数(「口振」、「納付書払い」別)	4-6
5	調定業務	1	生活保護減免一覧表	●毎月統計資料 ・調定月ごとに生活保護減免した水栓の一覧表 【調定月】毎 →(調定区分(上期検針・下期検針・精算調定分))別 →お客様番号、使用者、減免金額、減免消費税額	5-3-3
		2	当初納付書・督促状・催告状発行枚数調べ	[当初納付書]発行枚数、停止枚数 [督促状]督促状(口振再振替)発行件数、督促状(納付書払い)発行枚数、督促停止枚数 [催告状]催告状発行件数、催告状停止枚数	5-4-1-1 6-1-2-2 7-1 7-2
		3	口座請求伝送データ	●各金融機関毎に口座請求データを作成 →全銀協フォーマット	5-4-2-1
		4	上水用途・下水会計区分別集計表	●毎月統計資料 ・上水用途、下水会計区分毎に件数、水量、金額を集計 【発生月】毎 →(上水用途：家事用、営業用、工場用、公衆浴場用、船舶用、臨時用、共同家事用、公共用、官公庁用)別 (下水会計区分：公共下水道、農業集、林集、地域し尿)別 →調定件数、調定水量、調定金額	5-5
		5	口径・用途別水量ランク表	●毎月統計資料 ・口径、用途毎に水量ランク(使用水量が <sup>※</sup> 100㎡までは5㎡毎、101㎡～1000㎡までは50㎡毎、1001㎡以降は1000㎡毎)別で件数、水量、金額を集計 【発生月】毎 →(口径、用途)別 →水量ランク別 →調定件数、調定水量、調定金額	5-5
		6	調定修正集計表	●毎月統計資料 ・調定月毎に調定を修正したものを集計 【調定月】毎 →(水道、公共下水道、農業集落排水、林業集落排水、地域し尿)別 →請求サイクル(隔月、毎月1期、毎月2期)別 →修正区分(「一部減額」「全部減額」「増額」)別 →調定修正件数・増減水量・増減金額	5-5

No.	業務名	No.	帳票名	項目	対応機能
		7	月計表(調定部分)	●毎月統計資料 ・各年月毎に調定を作成したものを集計、調定年度ごとに集計 【調定年月、調定年度】毎 →(水道・公共下水道・農業集落排水・林業集落排水・地域し尿・し尿汲み取り・工業用水道)別  ①当初調定件数・金額、②異動増減件数・金額、③小計(①+②)、④当月過誤納発生件数・金額、⑤当月還付処理件数・金額、⑥当月充当処理件数・金額、⑦当月過誤納処理件数・金額(⑤+⑥)、⑧当月入金件数、金額、⑨当月充当件数・金額、⑩当月未収件数・金額、⑪当月収納件数・金額	5-5 6-7
		8	調定簿(水道)	●毎月統計資料 ・現年度、過年度毎に調定を作成したものを集計 【現年度】 →(旧市町村区域)、全区域(富山市全体)合算別  ①当初調定件数・金額、②毎月請求1期件数・金額、③毎月請求2期金額、④異動増減件数・金額、⑤差引調定額(①+②+③+④)、⑥前月調定累計金額、⑦当月調定累計金額(⑤+⑥)、⑧当月合計実績水量  【過年度】 ①当初調定金額、②前月調定累計金額、③当月調定累計金額(①+②)	5-5
		9	調定簿(公共下水)	●毎月統計資料 ・現年度、過年度毎に調定を作成したものを集計 【現年度】 →(旧市町村区域)別、全区域(富山市全体)合算別  ①当初調定件数・金額、②毎月請求1期件数・金額、③毎月請求2期金額、④異動増減件数・金額、⑤差引調定額(①+②+③+④)、⑥前月調定累計金額、⑦当月調定累計金額(⑤+⑥)、⑧当月合計実績認定水量  【過年度】 ①当初調定金額、②前月調定累計金額、③当月調定累計金額(①+②)	5-5
6	取納業務	1	速報／確報／取消データ集計表	【速報日、確報日、取消日】毎 →作成日、速報件数、速報金額、確報件数、確報件数、取消件数、取消金額	6-1-1-2
		2	コンビニ確報データー一覧表	・確報日ごとの収入データを抽出 【確報日】毎 →お客様番号、調定年月、水道料金、下水道使用料、し尿汲み取り手数料、合計金額、合計消費税額	6-1-1-2
		3	収入内訳表(コンビニ収納)	・コンビニ収納分の収入日ごとに会計区分・会計細節区分別の内訳を集計 【収入日】毎 →(会計細節区分)別 →収納金額、収納件数を出力できること。	6-1-1-2
		4	口座振替不能一覧表	・口座振替日ごとに振替不能であった水栓を抽出 【口座振替日】毎 →お客様番号、使用者名、金融機関コード、預金種目、口座番号、口座名義人、振替不能額、不能事由	6-1-2-1

No.	業務名	No.	帳票名	項目	対応機能
		5	収納取扱手数料計算書(口座振替手数料)	・金融機関ごとに振替依頼件数と振替済件数を集計 【口座振替日】毎 →(金融機関)別 →振替依頼件数、振替依頼金額、振替済件数、振替済金額	6-1-2-5
		6	還付金口座振込依頼データ	・還付金口座振込依頼伝送用データを作成 →全銀協フォーマット	6-3-2-1
		7	月計表(収入部分)	●毎月統計資料 ・各年月毎に収入があったものを集計、収入日ごとに集計 【収入年月】毎 →(収入日)別 →(水道、公共下水道、農業集落排水、林業集落排水、地域し尿、し尿汲み取り、工水)別 →収入件数・収入金額	6-5
		8	下水道使用料金収入状況調べ	●毎月統計資料 ・下水道会計収入のみ各処理区域毎の収入状況を集計するもの。 【公共下水道・農業集落排水・林業集落排水】毎 →(調定月)別 →(下水道処理区域、下水事業区分)別 →合計件数・合計水量・合計金額	6-5
		9	納付方法別収入状況表	・年度毎に収入があったものを納付方法別に集計 【水道・下水道】 →水道料金・件数 下水道使用料・件数  (納付方法) ①口座振替、②コンビニ、③金融機関、④ペイアプリ(eI-QR納付)、⑤クレジットカード(eI-QR納付)、⑥金融機関(eI-QR納付)、⑦小計(①+②+③+④+⑤+⑥)	6-5
		10	還付集計表(還付支払日別)	●内部統計資料 ・還付金支払日毎に還付件数・還付額を集計 【水道・公共下水道・農業集落排水・林業集落排水・地域し尿・し尿汲み取り】毎 →(還付支払日)別 →還付額・還付件数	6-6
		11	充当集計表(充当振替日別)	●内部統計資料 ・充当振替日・会計科目区分間の充当毎に充当件数・充当額を集計。 【水道・公共下水道・農業集落排水・林業集落排水・地域し尿・し尿汲み取り】毎 →(充当振替日)別 →充当額・充当件数	6-6
		12	充当振替表(充当日別)	●充当振替日毎に充当明細を一覧で表示。以下の項目を表示する。 [充当元]お客様番号、使用者、充当元調定、過誤納金額、充当元会計区分 [充当先]お客様番号、使用者、充当先調定、充当金額、充当先会計区分	6-6

No.	業務名	No.	帳票名	項目	対応機能
		13	還付支払一覧表(還付支払日別)	●還付支払日毎に還付明細を一覧で表示。以下の項目を表示する。 お客様番号、使用者、調定年月、水道過誤納金額、水道還付額、下水道過誤納金額、下水道還付額、し尿汲み取り手数料過誤納金額、し尿汲み取り手数料還付額、過誤納会計区分	6-6
		14	過誤納者リスト	・過誤納発生対象者の一覧。以下の項目を表示する。 お客様番号、使用者名、調定年月、水道調定額、水道収入済額、水道今回収入額、下水道調定額、下水道収入済額、下水道今回収入額、し尿汲み取り手数料調定額、し尿汲み取り手数料収入済額、し尿汲み取り手数料今回収入額	6-6
7	滞納整理業務	1	給水停止予告出力予定者リスト	・催告状の指定期限経過後、いまだ未納の使用者(給水停止予告出力予定者)を抽出 →お客様番号、装置場所、使用者名、担当区、滞納合計額	7-6
		2	給水停止予告出力対象者入金予定リスト	・事前に発行する給水停止予告出力予定者のうち、発行後に収納・速報入金のあった対象者を抽出 ・収納担当者で対象者の停止予告の抜き取りを行うために使用する →お客様番号、使用者名、調定年月、収入・入金予定額、未納金額、収納担当区域	7-6
		3	未納者リスト	・収納担当区域ごとに未納者を抽出 (抽出条件) 【収納担当区域】毎 →(調定年月) →(未納回数) 【水栓状態(開栓中・中止中)】 【井戸単独使用者】毎  →お客様番号、使用者名、装置場所、使用休止日(中止中水栓の場合)、未納調定年月、未納水道料金、未納下水道使用料、未納し尿汲み取り手数料、未納合計額	7-9
		4	大口滞納者集計表	・旧市町村区域ごとに未納件数と未納額を集計 【水栓状態(開栓中・中止中)】毎 →(旧市町村区域)別 →(金額(5万円未満、5万円以上30万円未満、30万円以上の3段階)) →未納件数、未納水道料金、未納下水道使用料、未納合計額	7-9
		5	執行停止・徴収停止対象者一覧	・執行停止・徴収停止処理を行った対象者の抽出 【水道・公共下水道・農業集落排水・林業集落排水・地域し尿・し尿汲み取り】毎 →(収納担当区域)別 →お客様番号、使用者名、装置場所、調定年月日、未納額、徴収・執行停止日、停止理由	7-10

No.	業務名	No.	帳票名	項目	対応機能
		6	不納欠損・債権放棄対象者一覧	・対象年度で不納欠損・債権放棄予定となる対象者を抽出 【水道・公共下水道・農業集落排水・林業集落排水・地域し尿・し尿汲み取り】毎 →(収納担当区域)別 →お客様番号、使用者名、装置場所、調定年月、未納額、徴収・執行停止日、停止理由	7-11-1
		7	不納欠損・債権放棄 事由別集計表	●内部統計用資料 ・年度毎に旧市町村区域別、欠損事由別で不能欠損・債権放棄件数、不納欠損・債権放棄金額を集計 【水道・公共下水道・農業集落排水・林業集落排水・地域し尿】毎 →(旧市町村区域)別 →(欠損事由)別 →不納欠損件数・不納欠損金額、債権放棄件数・債権放棄金額、人数(複数年度で同一使用者に対して欠損を行う場合、1人として集計)	7-11-1
		8	2年時効対象者一覧	・対象年度で2年時効をむかえる対象者を抽出(下水未使用かつ水道料金のみが未納である対象者) 【収納担当区域】毎 →お客様番号、使用者名、装置場所、調定年月、未納額、徴収・執行停止日、停止理由	7-11-2
8	工業水道	1	月計表(調定部分)	●毎月統計資料 ・各年月毎に工業用水道調定を作成したものを集計 【調定年月】毎  ①当初調定件数・金額、②当月入金件数、金額、③当月合計実績水量	8-1-5-2
		2	工業用水道集計表	●毎月統計資料 【契約企業】毎 →契約水量、使用年月、使用日数、断水時間、実使用量、超過水量、基本料金、超過料金、合計使用料金	8-1-7-1